

2014.12.21 09:04

さよなら「999号」 3300人が別れ 松本零士氏は新999号に意欲

平成21年から運行され、「999号」として親しまれてきた西武鉄道「銀河鉄道999デザイン電車」の運転が20日の特別記念運行で終了し、西武球場前駅（埼玉県所沢市）などで「さよならイベント」が開かれた。

999号の最後の雄姿を見ようとイベントには約3300人のファンが集結。通勤・通学などの足として多くのファンに愛され続けた車両をバックに記念撮影をしようとする人で、長蛇の列ができた。

漫画「銀河鉄道999」の作者で、車両のデザインを担当した漫画家の松本零士氏（76）も出席し、「線路の上を走るものは大好き。まさか、自分がそのデザインを手掛けることができるとは思っていなかった」と感慨深げにあいさつ。「可能なら新しい999号のデザインを手掛けてみたい」と新たな“目標”を口にした。



西武鉄道の銀河鉄道999デザイン電車

©2014 The Sankei Shimbun & SANKEI DIGITAL All rights reserved.